

アドミッションセンター

アドミッションセンター概要

アドミッションセンターは、入学者選抜方法の改善、中長期的な入学者選抜方法の在り方の策定、入学者選抜機能の検証、学生確保に係る広報活動等を行うことにより、継続的に優秀な学生を確保することを目的として平成26年4月に設置された。

アドミッションセンターは、次に掲げる事項について実施する。

- (1) 入学者選抜方法等に係る調査、研究
- (2) 入学試験データの分析、評価
- (3) 学部及び研究科からの求めに応じた入試に関する助言
- (4) その他センター長が必要と認めた業務に関すること。

また、アドミッションセンターは、各学部と共同し、次に掲げる事項について企画立案及び実施する。

- (1) 入学者選抜方法の改善に関すること。
- (2) 中長期的な入学者選抜方法の在り方の策定に関すること。
- (3) 入学者選抜機能の検証に関すること。
- (4) 入学後の学業成績の追跡調査に関すること。
- (5) 学生確保に係る広報活動に関すること。
- (6) 全国的な志願者動向を踏まえた志願状況の分析に関すること。
- (7) その他センター長が必要と認めた業務に関すること。

1. 調査・研究について

アドミッションセンターが行っている主な調査・研究は、以下のとおり。

- (1) 入学者選抜方法等に関する調査、研究
- (2) 入学試験データの分析、評価
- (3) 受験生向け広報活動の企画立案と推進

2. アドミッションセンターの組織

センター長（高大接続・入試広報担当学長補佐）、入試担当学長補佐、専任教員（1名）、兼務教員（1名）、担当事務（専門職員及び特任専門員）で構成されている。（令和3年6月現在）

アドミッションセンター

鹿児島大学主催 単独説明会の実施

1. 実施の狙い

(1) 地域貢献と地域連携の強化

特に、鹿児島県の地方部（離島を含む）に居住する高校生、高校教員との連携強化。

(2) 鹿児島大学のステークホルダーに対して、鹿児島大学を理解してもらう機会の創出。

2. 開催方針

大学に触れる機会の少ない鹿児島県内の地方部で、鹿児島大学への志望者が多い地域での開催を優先する。

3. プログラム

(1) 鹿児島大学の教育と研究

(2) 鹿児島大学の入試の特徴

(3) 鹿大生からのメッセージ（大学生活紹介、合格体験談等）

4. 開催実績（直近3年）

＜平成30年度＞

- ・大隅会場（鹿児島県立志布志高等学校） 平成30年7月7日（土）開催
- ・奄美大島会場（鹿児島県立大島高等学校） 平成30年7月14日（土）開催
- ・徳之島会場（鹿児島県立德之島高等学校） 平成30年7月21日（土）延期
（台風接近のため）
平成30年9月29日（土）中止
（台風接近のため）

＜令和元年度＞

- ・南薩会場（鹿児島県立加世田高等学校） 令和元年7月6日（土）開催
- ・奄美大島会場（鹿児島県立大島高等学校） 令和元年7月13日（土）開催
- ・徳之島会場（鹿児島県立德之島高等学校） 令和元年7月20日（土）開催

＜令和2年度＞

- ・奄美大島会場（鹿児島県立大島高等学校） 令和2年7月11日（土）開催

※新型コロナウイルス感染症対策として、高校への直接訪問は行わず、テレビ会議システムを活用し遠隔実施

アドミッションセンター

高等学校での大学説明会の実施

1. 実施の狙い

南九州地域（鹿児島県、宮崎県、熊本県）からの安定的な志願者確保のため、高校生に対し、鹿児島大学の教職員が直接高校を訪問し、教育、研究や入試内容を説明することで、鹿児島大学への理解と共感を深めてもらう機会とする。

2. 概要

＜実施時期＞

入学者選抜要項公表後の7月中旬から9月下旬

＜形式＞

鹿児島大学の教職員が高等学校を訪問し直接生徒に説明を行う。

＜説明内容＞

- ・入試説明（教科、科目及び配点、主な変更点）
- ・教育、研究内容（本学が派遣する教員の特色ある研究紹介等）
- ・学生生活（入学料、授業料（免除制度も含む）、奨学金、サークル活動、学生寮）
- ・就職状況
- ・その他（高等学校からの要望事項）

3. 導入によって期待される効果

南九州地域から、鹿児島大学で学びたいという強い意欲を持った志願者の増加。

4. 令和2年度実績

番号	実施日	高等学校等名	参加生徒数	担当学部等
1	9月8日（日）	伊集院高等学校	15	医学部保健学科
2	9月11日（金）	宮崎農業高等学校	12	農学部
3	9月18日（金）	宇土高等学校	28	入試課
4	9月18日（金）	松陽高等学校	48	入試課
5	9月19日（土）	日南高等学校	12	法文学部
6	9月23日（水）	宮崎南高等学校	82	入試課
7	9月28日（月）	指宿高等学校	22	入試課
8	9月29日（火）	慶誠高等学校	7	入試課
9	10月2日（金）	熊本農業高等学校	18	農学部
10	10月5日（月）	人吉高等学校	60	入試課
11	10月6日（火）	鹿児島実業高等学校	168	入試課
12	10月8日（木）	鹿児島工業高等学校	25	工学部
13	10月13日（火）	加治木高等学校	120	入試課
14	10月14日（水）	都城西高等学校	25	医学部保健学科
15	11月7日（土）	大口明光学園高等学校	31	入試課
計		15校	673	

アドミッションセンター

高等学校等からの大学訪問受け入れの実施

1. 実施の狙い

将来の受験候補者や受験候補者を指導する指導教員、ならびに、将来の受験候補者の保護者に実際に鹿児島大学のキャンパスに来ていただき、鹿児島大学を体感していただくことで、受験候補者の裾野を広げるため。

2. 概要

<実施時期>

原則4月下旬～11月

<形式>

鹿児島大学教職員からの大学概要説明、およびキャンパス内の見学。

その他、訪問校のニーズに沿って可能な範囲で対応する。

3. 令和2年度実績

番号	受入日	学校名	学年等	訪問者数				説明者
				生徒等	教諭	保護者	計	
1	10月16日 (金)	大分県立日田高等学校	2年生	35	3	0	38	アドミッションセンター、工学部、農学部
2	10月23日 (金)	鹿児島市立城西中学校	3年生	249	13	0	262	入試課、教育学部、農学部、共同獣医学部
3	11月2日 (月)	熊本県立人吉高等学校	P T A	0	3	42	45	入試課
4	11月4日 (水)	鹿児島県立川辺高等学校	1年生	61	7	0	68	入試課
5	11月10日 (火)	鹿児島県立指宿高等学校	1年生	95	4	0	99	入試課
本年度合計 5校 ※新型コロナウイルスの影響で、9月から受け入れ開始				440	30	42	512	

アドミッションセンター

秋季オープンキャンパスの実施

1. 実施の狙い

オープンキャンパスは例年8月上旬の夏季に開催をしているが、平成29年度から、秋季にも開催している。本学の魅力について高校生に情報提供することで、本学に一層の興味、関心を持ってもらい、志願者増に結びつけるとともに、魅力ある講義等を体験してもらうことで、参加者に本学で是非学びたいという動機付けを図る。

2. 概要（令和2年度）

<対象> 高校生、保護者、高校教諭

<実施日時>

- ・ 対面型企画 令和2年11月14日（土）
- ・ オンライン型企画 令和2年11月9日（月）～11月23日（月・祝）

※オンライン型企画のうち、オンライン進学相談会は11月14日（土）・15日（日）に実施

<内容>

- ・ ベストティーチャー賞受賞者による体験講義
- ・ 女子高生のための鹿大女子トーク！
- ・ 郡元キャンパス学部・学科訪問
- ・ 大学進学相談会
- ・ オンライン進学相談会
- ・ 動画公開（ミニ講義、大学紹介、学部紹介）

令和2年度実績

内容	参加者数
体験講義	82
女子高生のための鹿大女子トーク！	49
郡元キャンパス学部・学科訪問	174
進学相談会（当日受付）	13
オンライン進学相談会	29
延べ参加者数	347



令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しての実施となり、対面型企画及びオンライン型企画を同時に行った。対面型企画としては、令和元年度ベストティーチャー最優秀賞受賞の先生による生の講義を体感する「体験講義」、本学女子学生による受験の体験談や大学生活を紹介し、参加者からも質問を受ける「女子高生のための鹿大女子トーク!」、郡元キャンパス内の各学部の施設を教職員や大学生が案内する「郡元キャンパス学部・学科訪問」、入試や大学進学などの疑問にお答えする「大学進学相談会」を実施した。また、オンライン企画として、各学部教職員による「オンライン進学相談会」、「動画公開」（ミニ講義、大学紹介、学部紹介）を行った。

アドミッションセンター

入試改革研究会の実施

1. 実施の狙い

共通テストの刷新や多面的評価導入の要請等、近年の入試改革を取り巻く社会状況は急激な変化を見せており、そのような時期に本学は第3期中期計画の最終年度を迎える。続く第4期6年間の目標と計画の策定に向けて、短期的で急激な変化だけにとらわれるのではなく、中・長期的視点から入試改革を検討していく必要がある。例えば、10年後には大学進学者数が現在よりも5万人程度減少すると推計され、国内大学の淘汰は避けられない。

国公立大学に海外大学まで含めた環境を前提として、戦略的な入試広報を検討すべき状況にある。

このような状況をふまえ、その場しのぎではなく実効性・持続性のある改革を構想していくためには、高校生を大学へと送り出す進路指導の現場や、高大が連携して育成を目指す諸能力の実態に関する、現実的で具体的な知見が求められるだろう。そこで、高校進路指導及び高大接続におけるアクティブラーニングの分野に詳しく全国的な講演実績のある講師を招聘し、それぞれの視点から地方国立大学の10年後の社会状況を見据え、本学における入試改革の議論を深めることの一助としたい。

2. 概要（令和2年度）

＜対象＞

アドミッションセンター運営委員会委員
全学入試委員の教職員
その他、参加を希望する学内教職員

＜実施日時＞

令和3年3月15日（月） 13:00～15:30

＜場所＞

オンライン開催

＜講師・演題＞

①倉部史記氏（NPO 法人 NEWVERY 理事）

【演題】「進路指導の視点から10年後の高大接続を考える」

②野吾教行氏（河合塾教育研究開発部）

【演題】「アクティブラーニングの視点から10年後の高大接続を考える」

＜参加実績＞40名

当日の様子

